

地域密着型サービス事業所の「運営推進会議」について

① 「運営推進会議」とは

地域密着型サービス事業所が、利用者、市町村職員、地域住民の代表者等に対し提供しているサービス等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質を確保することを目的として設置するものです。

② 開催頻度

サービス種別	事業所数	開催頻度
地域密着型通所介護	10	6 カ月に 1 回
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	7	2 カ月に 1 回
小規模多機能型居宅介護支援	3	2 カ月に 1 回
看護小規模多機能型居宅介護支援	1	2 カ月に 1 回

③ 構成員

- ・利用者や利用者の家族
- ・地域住民の代表（町内役員、民生委員、老人クラブの代表者など）
- ・市町村職員
- ・地域包括支援センター職員 等

④ 令和 3 年度の実施状況

昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会議を中止、書面開催に切り替える等通常の実施が難しい状況ですが、開催方法を工夫するなどして再開をしている事業所が増えていきます。今年度の各事業所の実施状況をアンケート調査にて確認しました。

サービス種別	実施している		実施予定	実施していない	計
	紙面	対面			
地域密着型通所介護	4	0	3	3	10
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	3	0	4	0	7
小規模多機能型居宅介護支援	0	1	2	0	3
看護小規模多機能型居宅介護支援	0	1	0	0	1
計	7	2	9	3	21

8 割以上の事業所において、何らかの方法で運営推進会議を実施・もしくは実施予定であるとの回答でありました。実施している事業所もそのほとんどが紙面での開催とのことでした。対面で実施している小規模多機能型居宅介護支援事業所の 2 事業所は、密にならないように工夫し、施設内ではない広い場所（公民館等）で会議を開催されています。

また、現在実施していなくても今年度中には 9 事業所が実施を予定しており、徐々に通常の運営を検討している状況であります。